

## 【JIN 法人会員向けイベントレポート】

### 「スタートアップとの連携を見つめ直す～イノベーションをどう戦略的に取り込むか～」

2016年5月24日(火)、一般社団法人 Japan Innovation Network(JIN)は、500 Startups Japan 澤山氏を JIN オフィスにお招きし、JIN 法人会員向けイベント「スタートアップとの連携を見つめ直す～イノベーションをどう戦略的に取り込むか～」を開催しました。イベントの様子をご紹介します。

#### ■ JIN 西口氏プレゼン「オープンイノベーションにおける目的の必然性」

19時よりイベントをスタートし、初めに JIN 専務理事の西口尚弘氏が、「オープンイノベーションにおける目的の必然性」と題して、オープンイノベーションの目的について説明しました。スタートアップとの連携には試行錯誤が必要であることや、オープンイノベーションのステージによりスタートアップとの連携の目的と手段が異なること等が伝えられました。

#### ■ 500 Startups Japan 澤山氏プレゼン「イノベーションをどう戦略的に取り込むか」



続いて、500 Startups Japan マネージングパートナーの澤山陽平氏が登壇し、500 Startups と INSEAD が共同で、世界のトップ企業とスタートアップとの関わり方について調査した結果をもとに、「イノベーションをどう戦略的に取り込むか」と題して、スタートアップとの連携における戦略と手段について説明しました。

スタートアップとの連携は R&D と M&A の中間に位置付けられることや、スタートアップとの連携手段には大きく 5 つの戦略オプション(エンゲージメント、提携、投資、事業開発、買収)があること、どの戦略オプションを選ぶかは 5 つの問い(ベネフィット、期間、リスク、人的リソース、コスト)から判断する必要があること等が伝えられました。

#### ■JIN 西口氏と 500 Startups Japan 澤山氏、参加者とのディスカッション

JIN 西口氏と 500 Startups Japan 澤山氏による登壇後、参加者も交えたディスカッションが開始しました。

「今後スタートアップとの連携が増えると起きることは?」「最終的に目指すべき戦略オプションは?」「買収後のスタートアップとうまく連携するには?」「社内説得をうまく進めるには?」「スタートアップへ投資する際の判断基準は?投資しない基準とは?」等のテーマで、登壇者と参加者から会場でしか聞くことのできない体験談や本音が飛び出す、率直な意見交換が行われました。



最後のネットワーキングタイムでは、参加者同士の交流も盛んに行われ、イベントは終了しました。

-----  
一般社団法人 Japan Innovation Network(JIN)事務局

[お問合せ先]  
ホームページ: <http://ji-network.org/contact/>  
メール: [info@ji-network.org](mailto:info@ji-network.org)